

# 集落の存続へ力の結集

組織名 澁川環境保全会

位置： 周南市鹿野澁川

対象面積 36 h a

## ◆地域の現状

澁川地区は平成 15 年ほ場整備を完了した地域です。高齢化や過疎化は進みすでに限界状態と言えるだろう。平成 20 年よりこの制度を活用して、意欲的に取り組むことに成った。当地域の農地 36 h a の水利は錦川の支流の澁川川に頼っていて、川にかかる井堰数は 22 か所水路も長く、その保全管理には相当の苦勞をしている。農地の存続は、井堰や水路の維持管理が課題である。

## ◆活動内容等

それぞれの井堰関係者が中心となり、地域住民(非農家の人)とも協力して清掃、保全、管理をしている。

各井堰同士の連携も生まれて協力して作業や話し合いが進んできた。



## ◆効果(取組前と取組後のちがい)

地域住民の意識に変化が生まれたと思っている。

共同や、協力の成果を大切に考えるようになったと思っている。色々なあたらしい取り組みが生まれてきた。話し合いの重要性も少しずつ理解できるようになったと思っている。



## ◆今後の展望

澁川地区は高齢化しているものの、耕作放棄地がほとんど見当たらない。みんなが協力して対策に力をいれているからだ。これからも放棄地を出さないよう農地を守っていきたい。農事組合法人も、今年ささやかではあるが立ち上がった。婦人たちは加工事業に取組み始めた。「澁川ふれあいの家」という地域の拠点施設も今年3月に竣工式を挙げた。高齢化の中とはいえ皆でやれるだけ頑張る考えである。少しずつ地域外から、加工事業にも若い人が入って来てくれていることは、うれしい事である。この地域を将来に残していきたい。

# 美しいこの田園風景を残そういつまでも!!

組織名 こずおう さとしげんほぜんかい  
小周防の郷資源保全会

位置 : 光市小周防 対象面積 : 22.9 ha

## 地域の現状等

当地区は、昭和30年ごろに耕地整理事業が終わり、地域内の給排水施設、設備等に老朽化が目立ち平成3年に給水関連の更新を図るために、揚水ポンプの統合を行い、用水路の全面パイプライン化とする工事を実施して以降、経年でポンプ性能の劣化が、十分な給水が出来ない事態が起こっていた。そこで平成19年に始まったこの制度を取り入れ有効に活用して、トラブル解消の為、地域内の3自治会が一体となり、農家、非農家全戸参加の活動を推進する取り組みを始め、いつまでも、この地域の美しい田園風景が、四季を通じて、感じられる様に皆で守って行こうと地域保全活動に取り組んでいる。

## 活動内容等

この地域はポンプと、ため池からの水系と二つのグループがありお互い不干涉で今迄、過ごしてきました。これからは地域の一体化の活動を目指すべく、排水路の整備、清掃を共同で行うように話し合いを進めてきました、ため池の草刈等、共同で推進して行ける様になっています。子供達にも農業の大切さを教えるために、幼稚園児から小学生の児童と田植えや稲刈り収穫等の農作業の体験を指導しています、また、地区の婦人達の協力を得る為に、環境向上活動を目指し休耕田を借り受け菜の花、コスモス等を植えて地域のイベントとして菜の花祭り、コスモスの摘み取り等を実施しています。

## 効果

最初は、非農家の人達の協力がうまく得られるかが一番心配されましたが、地域の共同作業には全戸で参加されていたので問題は無かったのですが、行事の手伝いには参加者は少なかったです。しかし、地域のお年寄りが協力指導して頂ける様になり、地域の一体感が醸成されてきていると感じられる様になり、現在のこの田園の風景を維持して行こうとの関心が高まってきています。



## 将来の展望

昨年、この地域の農家の人達を対象に、アンケート調査や、訪問調査を行い各農家の将来像を聞き取り、将来像を描こうとしましたが駄目でした。集落営農には、まだまだ理解が進みません。私達の描く将来像はあと5年ぐらい掛かりそうです。農地は自分達でなんとかすると言われる人が多いのです。今、不在地主、耕作放棄、高齢化に伴う限界集落等、これから直面する問題に自分達はどうかとの意識を持ってもらえるように活動を推進することが大切でしょう。出来るまでやると言う農家には困っています。農家の平均年齢が71歳で若い後継ぎがいない、皆んな、年金を突っ込んでまで農業をしたくない、そう考える人が多すぎる。国の農業政策も20年くらいは変わらない方針が求められる。

# 「農地を取り巻く環境」をみんなで守り将来につなげよう！

こまつはらかんきょうほぜんかい

組織名 小松原 環 境 保 全 会

位置： 周南市大字小松原 対象面積： 58.1ha

## ◆ 地域の現状

当地区は、島田川と比較的高い山に囲まれた場所に3地区に連なって纏った田んぼがある。それぞれの地区は、川上から上郷、中郷、下郷と呼んでいる。中郷地区は昭和23年に圃場の区画整備が行われたが、農道が狭く又、水路の老朽化が進み施設の保全や、営農活動に多大の労力を費やしている。加えて高齢化や過疎化が進み、地域の深刻な問題となっている。そこで平成19年よりこの対策に取り組み、自治会、農家、法人を巻き込みながら、地域保全に取り組んでいる。

## ◆ 活動内容等

周南市三丘土地改良区の営農者が、島田川水系の用排水路の維持管理を主体に行っている。又、地域の環境・美化を守るため、自治会や各地区の婦人部と協力してゴミ拾いや、花の植栽なども行っている。法人の協力により小学校への田植え、稲刈りの体験の場を提供している。



## ◆ 効果

最初は、「農業者のみの参加になるのでは？」と懸念していましたが、共同活動などは非農業者の人たちも積極的に参加してもらえる様になり、地域の環境は自分達で守ると言う意識が高まったと思う。自治会や地域の婦人部の人達も高齢ではあるが、出来る間は役に立ちたいと言う意識が、高まった様に感じられる。



## ◆ 将来の展望

今後とも、この対策を継続的に展開していく事により、施設の補修などを少しずつ行い、営農活動が若い人たちにも魅力あるものにして行きたい。稲作以外には適さない地域であるが、作付面積の縮小で耕作放棄地にならない様に、景観植物などみんなで対応を話し合い地域全体で、この活動を行いたいと思います。



元気出そう小さな集落だけど！！

## 「高齢化対策・環境整備」

こいずみちいきほぜんかい  
組織名 小泉地域保全会

位置：周南市鹿野地区 対象面積： 4.4 ha

### ◆ 地域の現状等

当地区は、全戸数 16 戸で水利組合員も、その内 11 戸と言う小さな集落です。以前は 2 つのため池を灌漑用水の水源としていました。それも危険ため池と認定され、補修財源もなく、25 年前ため池を取り壊し、現在は錦川から揚水ポンプで灌漑取水としております。

近年、異常気象等で洪水も多くポンプ室のヘドロ回収も釣瓶を使い、上下でバケツリレー、危険かつ重労働な作業をしています。



### ◆ 活動内容等

高齢化した小さな集落を、いかにして活性化させ、住みよい魅力ある集落にするか、と言う事で次のような対策を取りました。

○ヘドロ回収にバキュームカーを雇う。(労力の軽減・ポンプ耐用向上)

○山田川からの開水路の整備 (U 字溝の補修、草刈等) をしてポンプ稼働率・電気代を基本料金内におさえる。

○環境美化として、空き地を利用し花壇作り、

○セイタカアワダチソウの駆除。



### ◆ 効果

☆農地・水向上活動に参加実施することにより、改善したいけど、資金がない・体力がない。

そうした高齢者の負荷が軽減され、農業を投げやり、悲観視していたのが、とどまった！



### ◆ 将来の展望

こうした制度も、一時的でなく恒久的な支援であってほしく…  
又、組合員もその支援を理解し、みんなで考え生きた活動にして、小さくとも魅力ある集落を目指したいと思います。



# 助け合う <sup>とち</sup>心一つで守る耕地

組織名 須々万山手農用地保全会

位置：周南市須々万 対象面積： 12.72 h a

## ◆ 地域の現状等

周南工業地域のベッタウンとして当初宅地化が進む中で、農業構造改善も持ち上がったが話し合いがまとまらず進展は致しませんでした。農家の後継者は工場に勤め、農業従事者は高齢化し、遊休農地、荒廃地が見受けられ深刻な課題が山積みしています。今回本対策が発足以来3年目からの出発であるが、関係者と話し合いを重ね、小規模ながら農地を守り美しい自然環境を守る目的で平成21年度より事業の開始に着手致しました。

## ◆ 活動内容等

農業に一番大事な「水」その源である大きな河川がなく活動範囲内は4本の小さな水系をもとに、少ない水量を確保するために水路関係者が共同作業で管理しながら農地・水・環境保全活動を実施しています。

又、自治会と連携しながら年2回の清掃活動を行ない、地域の環境美化につとめています。



## ◆ 効果

この事業に取り組むまで関係者の理解が得られるか不安が募った。「年老いての取り組み」に対し困難さがうきぼりになったが、話し合いにより参加の同意を得ることが出来た。そして平成22年度は規模拡大に向け協議を重ねた結果、周辺の新規加入を得ることが出来た。戸数、面積共に倍増し遊休農地の解消が出来た事も大きな効果の表われだと思えます。

## ◆ 将来の展望

高齢化の進む中大きく変わる農業の取り組みに戸惑いのある中ではあるが、本事業を活用し、環境保全を守り、農業者と自治会、そして子供会と共に自然と生物について学つつ楽しい農業、景観作りに取り組みたいです。

## 地域と一緒に

組織名 杉ノ河内環境保全会

位置：周南市栄山

対象面積： 3ha

### ◆ 地域の現状等

当地区は高齢化が進み作業従事者が少なくなり現状では4人で農地を守っています。60代1人、65～70代2人、70～80代1人の割合で農業をこなしています。

### ◆ 活動内容等

農地・水を発足以来、運動自体は景観作物等の植栽等を通じ地域の中で活動してきました。

### ◆ 効果

この制度を始めて忙しい行事は増えましたが、そのつど声かけ等をする中で農業者以外の参加も徐々に増えています。

### ◆ 将来の展望

農業者だけでなく地域の人を力にかけて現在の農業をささえていけたらと感じている所です。

私達当組織は人数的には4名と最小の組織と思います。

ただ自信を持っていえる事は各個人が「水がもれているよ、直したけど良くならないので、直しておいたほうがいいよ」等の声かけをしている等、仲間意識としては強い方だと思っています。個人主義に走りがち(経営上しかたがない面もありますが)経営体の中で地域が一体となった方向性があると言うのが強みです。ただ地域の中で高齢化が悩みです。





## コミュニケーションを大切にしたむらづくりを！

にしかわちにしかみちいきほぜんかい  
組織名 西河内西上地域保全会

位置：周南市大字大潮 対象面積： 16 ha

### ◆ 地域の現状等

当地区は先輩方により鹿野で最初に圃場整備事業を完了した地域です。又水利は錦川の豊富な水源を利用、水田を主体にした恵まれた条件下にあります。ご多分にもれず高齢化が進む一方、後継者もサラリーマン農家で数人といった状態で他は受託（法人及び個人）者でかろうじて農地を守っているのが現状です。その様な中、この環境保全対策を有効に活用し地域の保全に取り組んでいます。



### ◆ 活動内容等

農家、非農家が連携し水路（草刈り、泥上げ）、農道の草刈り、補修等を主体に管理、農地は農家及び営農法人で管理しています。又自治会や老人クラブ等と連携を取り乍ら、清掃、環境の美化啓発、花等の植栽を通し、環境向上活動を実施しています。

### ◆ 効果

以前に比べ、農業施設（水路、農道）の保全管理が資金的に幾分と楽になり、非農家等からも作業などの協力を得られる事が多くなった。

又、環境保全の面からも地域の方々に理解をして頂ける様に成りつつ有ると思う。

### ◆ 将来の展望

今後も出来れば、この対策を継続的に展開していき、耕作者の高齢化、減少化は避けて通れず、農業施設の長寿命化、耕作活動の効率化等も次期の対策に盛り込んで頂き長期的に安定した営農、環境保全活動が保てる様、地域住民とも連携した村造りにしたいと考えます。

# 美しい景観を後世に!

組織名 西河内東地区農用地保全会

位置： 周南市大字大潮西河内東地区

## ◆ 地域の現状等

中山間地域で水田約 13 h a、耕地所有者 15 人で本人耕作者は 9 人、また他地区の方 3 人での現状維持である。

また、参加者もかなり高齢化してきています。

## ◆ 活動内容等

特に農水路の維持管理を重点にしている。  
環境保全のため、汚濁防止につとめている。  
また、風水害等の後処理の対応等。



## ◆ 効果

当地区の水路の長さが約 4 k m 程度あり、整備相当時間が経過している関係で毎年補修を行っているが、農地の所有者と耕作者との関係で負担金についても当事業費で処理が出来るようになったので助かります。

また修理、補修等についても日当等の支払がスムーズにできるようになりました。

## ◆ 将来の展望

現状維持しながら後継者につないでいきたい  
しかしながら難しいのではないかと。





# 次代を担う者のために

組織名 石光地区環境保全会

位置:周南市小松原 対象面積 13ha

---

## 1) 地域の現状

当地区は、島田川と石光川に面した平坦な地であり、農業環境としては恵まれています。農業施設(農地、農道、水路等)が昔からのままで老朽化が進んでいます。また効率面でも劣っています。平成15年に圃場整備事業の実施を申し込み平成23年度着工まで進んだのですが、政権交代による予算の削減により延期となっています。

## 2) 活動内容

平成21年に組織し、石光地区環境保全会として活動を開始し今年で3年目となります。今までの2年間で活動の必要性もなんとか理解され、地域の問題も共同で認識され作業するという事が定着しつつあります。作業の範囲も農地・水だけでなく生活環境という思いもあり、農地用法面と共有している河川堤防の草刈り、クリーン作戦、道作り等地域の皆さんと一体となっており取り組んでいます。

## 3) 効果

今までは自分の守備範囲は自分で、という意識が強かったのですが問題点を見出し共同で取り組むという意識が芽生えつつあるようです。地域の会員相互の意思の疎通が出来るようになり連携が深まりつつあります。

## 4) 将来の展望

早ければ24年度にも圃場整備が実施されるようになります。この環境保全会で培われつつある共同作業の精神が、新しく整備された農地での、農業の法人化、共同農業、担い手の育成等の計画、実施のなかで生かされればと思います。



# 「復活」 荒廃地 0 で明るい農業をめざそう！

いわき さと まもるかい  
組織名 石城の里を守る会

位置：光市大字三輪・塩田集落 対象面積： 77.04 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は早い地区で県営圃場整備事業が完了して約 25 年になる地域です。そして現在は高齢化、後継者不足で地域の深刻な課題であると考えています。そこで平成 19 年度よりこの対策を有効に利用し、後継ぎの中年層、若年層の育成を図りながら地域全体で資源の良好な保全や環境の向上に向けた活動に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

農村環境向上活動のうち景観形成等について、施設等の定期的な巡回点検・清掃活動を他の構成員と連携して実施している。

## ◆ 効果

最初は「農業従事者だけで行うのか？」と思っていましたが、段々構成員もふえてきました。また、毎年 1 回市の行事に従って自治会や子供会も一緒に草刈りや空缶拾いなども行う様になりました。

そして、平成 23 年 2 月に農事組合法人「石城の里」の立ち上げで一層後継者不足や荒廃防止になるような気がします。

## ◆ 将来の展望

今後、この対策を更に強力にすることで構成員、自治会、子供会が団結して、どうしたら高齢化、後継者不足の地域農業がまもれるか話し合いができればいいと思います。また、この対策をもっと有効利用し、地域で環境美化にすすんで取り組んでいければいいと思います。



# 切山の豊かな「緑と水」これからもずっと守って行こう

組織名 切山上環境保全会

位置： 下松市切山 対象面積：10.4ha

## ◆ 地域の現状

当地区は下松市の北東部で周南市(旧熊毛町)と境を接する切山川水系の上流に広がった水田地帯に位置します。地域内のほとんどが農家で農用地や水路の整備、また農地周辺の環境整備を高齢化の進んだ地域住民が担っています。そこで平成19年度よりこの対策を利用して農業者・自治会等で新たな活動組織を作り、地域内の合意形成をおこない計画的な地域保全活動に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容等

農用地の整備や維持管理等は農業者でおこないますが、農地周辺の草刈りやゴミ拾い等の清掃活動は非農家を含めた自治会の協力を得て計画的におこなっています。またセイタカアワダチソウなど外来種の駆除も併せておこない景観形成や生態系の保全にも取り組んでいます。



## ◆ 効果

当集落では、今まで皆で共同作業をする機会はありませんでしたが、環境保全会が立上ったお陰で、集会所での話し合いや、草刈り・鳥獣防護柵の設置等皆で協力して作業することが多くなりました。これにより自然と稲作などの情報交換も増え、集落の将来についても真剣に考えるようになったことは、過去4年に亘り環境保全活動を行ってきた賜物と考えています。



## ◆ 将来の展望

本活動も最終年度を迎え、共同作業も軌道に乗ってきた気がします。今年度は地域の景観や美化に力を入れていきたいと考えています。今年度開催される「やまぐち国体」に因み、遊休田へのコスモスの種蒔きや他の花苗を植えることを準備しています。また、当集落もご他間に漏れず高齢化(平均年齢66歳、65歳以上の割合53%)が進んでいます。これからは若い後継者に環境保全活動を盛り上げてもらえるよう教育やPRに力を入れていきたいと考えているところです。



## スローガン

**個人の圃場は、地域の圃場として地権者も耕作者も施設の長寿命化と環境保全に努める。  
(特に草刈は、害虫の発生で隣接の圃場に迷惑するため早めに刈り、刈り草処理を行なう)**

組織名      せんだごうかんきょうほぜんかい  
                 千田郷環境保全会

位置： 光市大字小周防及び周南市大字安田      対象面積（田）：      56.6 ha

---

### 地域の現状

当地区は、平成12年度に県営ほ場整備事業を完了し豊かな農用地が誕生しました。しかしながら、現在高齢化や過疎化が進み入り作農家（地域外の農家）が増え、地元農家の減少に伴い施設（農用地・開水路・パイプライン・農道）の悪化が進行し、豊かな農用地の維持管理が困難な状況にあります。平成19年よりこの対策に参加し、各地区の代表者を選出し、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

### 活動内容

#### 1) 農用地

- (1) 点検及び機能診断により畦畔の再築立・農用地法面の初期補修が意外に多くあり地権者と耕作者に連携し補修。
- (2) 畦畔・農用地法面の草刈（入り作農家の方も最近協力をいただいている）

#### 2) 開水路

- (1) 中央排水路（農用地の中央にある主要排水路）の草刈・刈り草処理を農業者・自治会（非農業者含む）で行なっている。
- (2) 中央排水路支線については、1自治会が泥上げを行なっている。

#### 3) パイプライン

- (1) 機能診断により給水栓ボックスのずれによるバルブ開閉困難、又パイプに接触しパイプの損傷につながる個所が毎年のように発生し補修を行っている。
- (2) ポンプの管理については、ポンプ管理人が行なうが点検・機能診断については、役員全員（ポンプ管理人含む）がチェック項目に基づいてチェックを行い長寿命化を図る。

#### 4) 農道

- (1) 農業者・自治会（非農業者含む）による路肩・法面の草刈・刈り草処理。
- (2) 機能診断により従来気づいていなかった、アスファルト舗装・農道法面・農道排水溝の損傷が意外に多く計画的に補修を実施。

#### 5) 水質、景観形成・生活環境保全

- (1) 生活環境保全活動として、農用地や農道・水路等施設周辺を対象に、ゴミの不法投棄防止の巡回点検や清掃を行なっている。
- (2) 濁水を流さないように、中央排水路（幹線）草刈り時に広報を配布し呼びかけ。

効果(取組み前と取組み後の「ちがい」)

- 1) 取組み前は、施設(農用地・開水路・パイプライン・農道等)の管理に関心が薄く、農用地排水口が沈下し水田からの水が畦畔を越しても放置・給水栓ボックスの損傷・農道排水溝の破損等の放置が見受けられ補修費の問題も発生していた。取組み後点検・機能診断によって施設の悪化が意外に進んでおり、年度活動計画の策定により毎年補修を行い長寿命化を目指している。又地域の皆さん(入り作農家含む)が施設管理に多少関心が高まったように思える
- 2) 役員が各地域より選出されているため、地区の交流ができ中央排水路の草刈・清掃作業については取組み前より多くの参加者があり、草刈・清掃作業の意識の高揚がみられる。
- 3) 千田郷は、50%(面積)以上が入り作農家(地域外の農家)で草刈等が問題になっているが、最近は多少よくなっていると思われ、農村環境への関心が多少高まってきたのではないかと考えています。
- 4) 景観形成・生活環境保全については、女性部が積極的に施設等の定期的な巡回点検・ゴミの収集を行なっているが、地域外の通行人(車両含む)ではないかと思われる不法投棄があり、地域全体での環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。

将来の展望

- 1) この対策により、施設の管理意識や農村環境への関心が多少高ってはいるが、定着していないため不安。  
施設管理は、地元農家(地権者)にあり、入り作農家(地域外の農家)が50%以上占めこの対策がなくなれば、補修等の資金等含め長寿命化対策に難渋するのではないかとされる。
- 2) 体制整備構想により、営農助け合いグループの設立・地元大型農家の進出(予定)等により、地元農家の減少防止(耕作面積の減少防止)を計り本対策を有効利用し施設の管理(施設の長寿命化対策)・農村環境(特に草刈)の活動をしたいと思っています。



# 「生まれ育ったふるさと倉谷はえの一」

組織名 倉谷農地水えの一の会

位置： 周南市鹿野地域倉谷 対象面積 8.3 h a

## ・地域の現状

当地区は、周南市中心部から約35km北上した旧鹿野町の大潮地域内にあり、高齢化が著しく進んだ集落です。

農地は圃場整備事業が完了しています。活動組織は1法人と他出者である3戸の非農家を含めた14戸で構成されており、「生まれ育ったふるさとを守る」を合言葉に、保全活動を進めています。

## ・活動内容等

用水は、河川から直接する取水する用水路が数多くあり、各水利管理組合が主体となって管理し、農地と環境保全は、構成員全員が協力しながら、農地、水向上活動を展開している。

## ・効果

生まれ育ったふるさとを守るため、発足時より他出者である非農家が、積極的に地域環境の保全に参加し、集落内農家との連携が円滑にすすみ、協定地域内に荒廃地は発生していない。高齢化が進行しても、地域保全を図る体制づくりを着実に進めることできている。

## ・将来の展望

今後、この対策をさらに発展していくことにより、安心して地域農業を展開する体制づくりを図り、美しい自然環境と調和したふるさとと農地をまもる活動を行う。





# 心をつなぐ美しい里づくり

組織名 大泉の里を守る会

位置：周南市鹿野 対象面積： 13 ha

## ◆ 地域の現状等

高齢化が進んでいるので思うような活動が出来ないけど、出来る範囲の中で進めて行きたい。

## ◆ 活動内容等

地域の畑 2ヶ所に花を植える。



## ◆ 効果

水路の水漏があった所に U 字工を設置したので水漏がなくなった。

## ◆ 将来の展望

農道の整備

# 農地と水を守り地域の活性化を図ろう

組織名 おおたにちいきほぜんかい  
大谷地域保全会

位置： 山口県周南市米光大谷 対象面積： 4ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は周南市の北部にあり、典型的な棚田地域です。

現在高齢化はもとより兼業農家が大半です。平成 20 年度よりこの対策を有効に活用して農家、非農家を含め連携をとりながら地域の環境保全に取り組んでいます。



## ◆ 活動内容等

棚田につき付帯作業（草刈り・畦畔）も多く会員は大変苦勞していますが、農地を主体に水路と農道の管理を実施しています。

自治会を中心として、河川公園に花壇を造り花を植え付け、手入れ等共同作業で地域の環境美化に努めています。

又、年 1 回花見、夏まつりを催し地域の総合力を高揚しています。

## ◆ 効果

最初は役員のみでの参加でしたが、一年間活動した結果、連携も深まり共同作業に対する協調性も生まれ地域住民の環境意識が向上しました。

## ◆ 将来の展望

今後の課題として高齢化と後継者不足による耕作放棄地が増加すると懸念される中、会員全員で知恵と工夫を重ね地域の環境向上を継続したいと思います。

# 未来へつなげよう！ 棚田と自然

なかすぎたたなだ まもるかい  
組織名 中須北棚田を守る会

位置：周南市中須北 対象面積： 43.9 h a

## ◆ 地域の現状等

中須北地区はすり鉢状に美しい棚田ですが、農家数が15年間で3割近く減少し、また過疎化・高齢化が進み、棚田の休耕地が増加。

このため「棚田清流の会」を立ち上げ、棚田の保全活動として、休耕地への植栽や農業体験交流会等の取組等を実施している。H20年より農地・水・環境保全向上対策にも取組み農家・非農家が一体となって更なる保全活動の推進を図っている。

## ◆ 活動内容等

本地区では、構成員である「棚田清流の会」を中心に、地区住民が一体となって協力して棚田の保全活動に取り組んでいます。また、「たまちゃん」というキャラクターを作り、ステッカーにして全戸に配布し、家の戸口や自家用車などに貼り啓発を行っています。

## ◆ 効果

これまで、水田の3割が休耕地や荒地になっていたが、1割程度に減っており棚田再生の努力が景観の美しさとして実を結んでいる。

また、イメージキャラクター考案、棚田を守る会の中心メンバーとして非農業者が活躍しているのも会の強味です。これらの効果として、やまぐち棚田20選最優秀・中四国農政局長賞特別賞・美の里コンテスト1位で農林水産大臣賞など受賞しました。



## ◆ 将来の展望

今後この対策を更に発展的に展開していくことにより「世代を超え、地区を超えた多様な構成員同士が、これからの農村や食の安心・安全について語りともに実践して行けたら」と考えています。また、本対策を有効活用して、自然豊かな棚田を未来へ残せる様に地域住民が一体となって頑張っ



# 次代に誇れる地域づくりをめざして

てんぷかんきょうほぜんかい  
組織名：天符環境保全会

位置：光市三井 対象面積：10.25ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は平成20年3月にほ場整備事業が完了した今栞、平迫、芋尻、そして有井地区の4地区を対象に活動を行っています。会員の多くが高齢者ですが、本会を通じて情報を共有し、助け合いながら農地や農道、水路の維持管理や清掃を行っています。

## ◆ 活動内容等

各4地区で農道の草刈や水路の清掃などを行っています。農地や農道、水路の点検、異常気象後の見回り等は共同で行い、セイタカアワダチソウなどの外来種の駆除についても地域の問題として協力して対策に取り組んでいます。

また、芋尻地区を中心に年2回程度、道づくり行事において非農業者と共同して農道の草刈や水路の清掃を行っています。



## ◆ 効果

取組前は各地区の個人で活動していましたが、本事業を取り入れることで地域間の交流が生まれました。これにより、本地域全体における問題点が明確になり、これを解決するためにどうすればよいかを地域のみんなで真剣に考える契機となりました。

また、他者との交流により、良好な農地を維持していかなければならないという使命感を持つようになりました。

## ◆ 将来の展望

4地区とも高齢化が進み、担い手不足が懸念されています。この地区の良好な景観を維持していくためには担い手を発掘することはもとより、地域全体で協力して支え合っていく組織づくりをしていかなければならないと思っています。



# きれいな「水・土・里」をいつまでも！

組織名 たど さとほぜんかい 田戸の里 保全会

位置： 周南市大字馬神 田戸 対象面積： 9.22 ha

## ◆ 地域の現状等

当地区は、周南市の最西北端に位置する山合いの僻地集落である。主な3団地（浴）約10haは、平成3年に棚田形状の圃場整備が完成している。並行して、県施行の農免農道が集落を縦断して開通し、地区住民の生活利便が向上した。しかし、高齢化による労力低下と後継者等の担い手問題をかかえ、今後の農用地の維持管理と農業の継続が最も懸念される場所である。中山間等直支交付金事業は、「集落協定」により農用地の荒廃防止と集落の維持のために取り組んでいる。併せて、平成21年度から本制度を活用し、地域全体で集落の維持活性化と環境保全のために取り組んでいる。

## ◆ 活動内容等

現存の農家13戸と他集落からの入り作農家4戸が、水稲を中心にハウス野菜・花卉等を栽培している。共同活動（作業）としては、主として農道の補修、砂利補充、草刈り、用水路の泥上げ、外来種の駆除、地区内清掃、神社の清掃等を定期的実施している。また、集落協定と合同で集落の中心地にある休耕田を利用して景観作物（コスモス・菜の花）を作付け、地区民や通行者の楽しみと癒しの場になっている。



## ◆ 効果

かつては、集落の共同活動といえば、自治会主催の河川清掃と地区内清掃が年1回程度であった。本制度の共同活動には、支援交付金を活用することで、参加意識が高まり、自治会や高齢農家の地区外居住の若者が積極的に参加するようになった。そのため、共同活動が盛り上がり定期的・継続的に実施できるようになった。このことは、集落伝来の農地を守り、きれいな自然や環境を大切にしようとする意識と関心が高まってきたといえる。と共に、放置されていた休耕田の管理ができ、道路や神社等がきれいになって集落内の景観が良くなった。

## ◆ 将来の展望

本制度に取り組んできたことを契機として、自治会、集落協定等と連携を強め、一体となって集落を維持、活性化して、住む人が気持ちよく安心して暮らせる里になるように！そして・・・春には山菜採り、夏には蛍の乱舞、秋には黄金の棚田風景、冬には野山の雪景色の自然に満ちた田戸の里が、いつまでも続くように願うものである。

# 「みんなの力」で未来へつなごう農村環境を！

組織名 しらいしかんきょうほぜんかい  
白石環境保全会

位置： 周南市大字呼坂(白石地区) 対象面積： 12.8 h a

## ◆ 地域の現状

当地区は平成13年度に圃場整備を完了した地域です。他地域ほどではありませんが、現在高齢化、人口減少から過疎化も進んでおり、地域にとっては大きな問題であると考えています。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、生産資源及び農村環境の継承に向けて、農家、非農家を含めた共同活動を行い、地域の保全に取り組んでいます。

## ◆ 活動内容

各利用者グループが、それぞれの水路、河川水系及び2つのため池の管理、農道、農地関係についても営農組合等とも連携して、農地、水向上活動を実施しています。また自治会、老人クラブ、子供会も地域の景観形成、生活環境向上活動を実施しています。

## ◆ 効果

最初の立上げがうまく行くか心配しておりましたが、役員さんの熱意とチャレンジの気風、努力のおかげで集落の大多数の人が参加しております。この様な活動を通じて年代間のコミュニケーションも図られ、農村環境改善への意識がかなり向上出来たのではないかと考えております。これから若い方、子供さん達がかけがえのない農村環境資源を守り、次世代につなげていくこと等、有形、無形の効果が得られていると思います。



## ◆ 将来の展望

今後、この対策を更に水平展開させて行く事により、世代を超えた構成員同士が、同じ目標に向かって全員参加で話し合いを持ちながら、これからの農村、食の安全、安心について進めて行く事が出来れば良いと考えています。本対策も有効活用して景観形成、生活環境保全に努めて行きたいと考えています。この様な活動を通じて集落の活性化、及び個人個人の成長が出来ればこの上ない事と思っています。



# みんなで地域を守る！

かたやまみどりかい  
組織名 片山水土里会

位置： 周南市大字大潮

対象面積： 9.86 ha

## ◆ 地域の現状等

私たちの地域でも高齢化が進み、耕作意欲が薄れつつあり、耕作困難な所は耕作放棄地となっています。

## ◆ 活動内容等

耕作者や地域の人達や他出者の人たちに協力いただき、農道水路などの草刈り、水路泥上げなど行っています。

## ◆ 効果

特別に変わったと言えるほどの事は少なく、他出者などの退職により農耕作業に参入が見られます。

## ◆ 将来の展望

現状維持

営農法人の参入により活動を盛り上げてほしい。



# 環境を組織の力でほぜんしよう

組織名 きつね原環境保全会

位置： 周南市鹿野中 中津東地区 対象面積： 10h a

## ◆ 地域の現状等

高齢化が進み、今後数年のうちに農道、水路の維持管理が大きな負担となって来る。

## ◆ 活動内容等

農道、水路の補修を中心にして地区内の環境を整備する為に未耕地の草刈等の共同活動や美化を実施する。

## ◆ 効果

耕作放棄地の草刈りを実施した事で病害虫の発生が軽減された

## ◆ 将来の展望

当地区は圃場整備がされておらず農道の整備とともに話し合いで解決し子や孫が安心して農業が続けられるような環境を作って行きたい。



# 担い手を育てる環境を作ろう!

組織名 つかり<sup>みず</sup>水と<sup>みどり</sup>緑の<sup>かい</sup>会

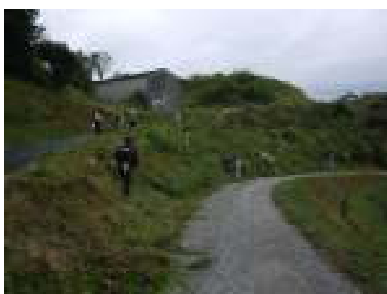
位置:光市 東荷 対象面積 83ha

## ◆ 地域の現状

当地域は、県の東部に位置し初代内閣総理大臣「伊藤博文」生誕の地で、圃場整備後 10 年を経過しようとしています。しかし、圃場整備の結果、効率的な作業については一定の効果がありましたが、整備での完成度にはまだまだ課題が残っています。盛り土が故に段差が大きくなった畦畔は草刈り面積の増加、又、柔軟な土質での崩壊やこれに起因する河川への土砂堆積など回水路の埋設への対応という新しい作業を強いられ、高齢化と担い手のいない現実が深刻になりつつあります。そこで、平成 19 年よりこの制度を使用して、担い手が定着し安定経営のできる営農者を育成すべく地域の保全活動に取り組んでいます。

## ◆ 活動の内容

大規模な整備で作られた農用地の保全には、不具合や破損に対し大型の重機を使っての対応が求められ、管理放棄が顕著となっていました。結成した組織で農地の維持管理やホタルの飼育活動等を実践しています。



## ◆ 効果

活動当初は、どのような活動が適切か構成員の戸惑いもありましたが、4 年間活動をして地域全体の関心も高まり、気軽に”この不具合は水と緑でやろう”という話が出るなど機運が高まっています。

## ◆ 将来の展望

今後もこの対策が継続されれば、担い手の受け入れも容易となり営農の安定経営に繋がると考えます。また、環境の保全活動と共に将来子供たちが営農で生活したいと思う活動にしたいと思います。



# 「ツルの里」の環境をよくしよう

組織名 ツルの郷を守る会

位置： 周南市大字八代 対象面積： 136 h a

## ◆ 地域の現状

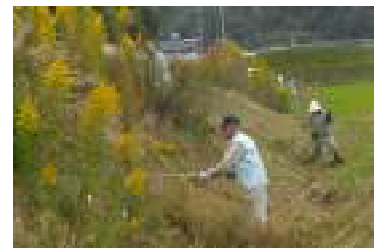
当地域は平成元年北部地区が圃場整備を完了し、南地区が平成12年度に、西地区が平成18年度にそれぞれ完了した。現在この圃場を荒廃させないように開水路・農道・パイプライン・農用地を維持管理していくことが大きな課題である。このことは高齢化していく中で環境に配慮した米作りをしている農業者のためであり、田んぼを餌場にしてツルのためである。

## ◆ 活動内容

現在集落ごとに役員を選出し、その役員が中心となり水路・農道、パイプライン等の維持管理をするために共同活動を推進している。年1～2回は自治会と連携して生活道ともなっている農道や水路周辺の草刈りや景観作物の栽培などに取り組んでいる。子どもたちはツルの餌場付近の水路や小川等で水辺の教室（ツルの郷を守る会と八代小学校共催）を開催生き物調査をして環境への関心を高めている。また、ツルの郷支援隊を組織し八代全体の環境に目を向け環境美化に取り組んでいる。

## ◆ 効果

最近「八代の圃場はきれいだ」と観光客に言われるようになった。その大きな原因はツルの郷支援隊を中心に多くの農業者や自治会の方々が草刈り作業や水路清掃などに共同で取り組まれるようになったことが大きい。営農活動は農事組合法人「ファームツルの里」の取り組みのみであるがこの取り組みの影響により全体的に環境に配慮した「人とツルに優しい米づくり」が進められていくようになった。



# 荒すまい我がふる里

# 自分達の手で保全

組織名 ふるさと佐田さだ まもるかいを守る会

位置：山口県光市佐田集落一円 対象面積： 30.5 h a

## ◆ 地域の現状等

標高 80m～120mと高低差も大きく、したがって法面も高く草刈り作業が大変である。又農道が 7.4 k m開水路も 21.6 k mあり管理も大変である。

## ◆ 活動内容等

農地、農業用水等資源を保全する活動として遊休農地等発生させない様、又各施設の点検、全施設の共同作業計画の策定、施設周辺の草刈、水路の泥上げ、農道の保全等の活動を行っている。

## ◆ 効果

平成 19 年に 14.7 h a から現在は 30.5 h a になり活動範囲も多くなりましてが、平成 19 年に有った耕作放棄地（木、竹が生えていた）所を農地に復元した。現在は、遊休農地は皆無である。

## ◆ 将来の展望

この活動は継続して行きたいが高齢化で不安である。



# 花いっぱいの景観

まるやま まもるかい  
組織名 円山を守る会

位置：周南市大潮字小潮～木原 対象面積： 2 h a

## ◆ 地域の現状等

たんぼが整備されて、仕事の出来る環境になりました。

## ◆ 活動内容等

農道の整備、畦畔の草刈り、法面の草刈り等。  
畦畔法面にヒガンバナの植付をしている。



## ◆ 効果

まず水の管理がしやすくなった。  
トラクターなど大型での仕事がしやすくなった。  
手間が大幅に少なくなった。



## ◆ 将来の展望

後継者がいないので、法人化にすることをいそぐ。



# 環境にやさしい集落をめざして！

組織名 きぼう 希望のふるさと すがね 須金

位置： 周南市須金 対象面積： 15 h a

## ◆ 地域の現状等

私達の地域は周南市の中心市街地から約 25 k mの所に位置し周南コンビナート地域の背後地として農業と林業の経営が中心の地区です。近くには中国自動車道が走っており又国道 434 号線が通じ、観光農園へのアクセスも便利で周南市の中心部通勤も容易な地域です。

当生産組合は昭和 50 年から 53 年までに実施した第 2 次構造改善事業により豊かな自然環境に恵まれた条件を最大限に生かすために主に梨では二十世紀、ブドウでは巨峰、ピオーネが植栽されました。現在は客のニーズに答えるために多品種の梨、ブドウが栽培されています。

## ◆ 活動内容等

希望のふるさと須金は、この生産組合を母体として隣接自治会の協力を得て、農地・水・環境保全に取り組んでいます。環境保全活動として農用地、パイプライン、開水路、ため池、農道を重点項目として取り組んでいます

協力自治会も高齢化が進んでおりますが、秋には私達組合と合同で農道のゴミ收拾、清掃作業もしております。



## ◆ 効果

この事業を始めてから、環境保全美化の意識が高まったように思えます。

## ◆ 将来の展望

中山間地域が少子高齢化し農地が荒廃していく中、私達組織は地域のためにも、環境保全に益々努力していこうと思います。

# シバザクラの郷

組織名 向道環境保全会

位置： 周南市大向、大道理 対象面積： 24 h a

## ◆ 地域の現状等

周南市街地より車で20分～30分、国道315号線、376号線沿いに位置し大道理、大向地区と人口430人程度、60才以上が50%以上と云う地域である。田畑の維持管理も殆ど60才以上が行っており5～10年後が心配である。

## ◆ 活動内容等

川よりポンプにて吸水、堤から吸水、自然流水など水の管理がさまざまで、作業が多い。その為川草刈り、管理道の草刈り等共同作業が多い。

又、田の法面を利用した芝桜の植栽、川の法面を利用したあじさい等の管理も行っている。



## ◆ 効果

取組前には会議等では発言しなかったが、取り組んでからは「維持管理」を役員の口から言ってもらう様になっている。その言葉で年配者が元気付けられる。

## ◆ 将来の展望

高齢者が多く、今後の維持管理が心配。

# 未来へ繋ごう農地と水と環境を

組織名 いまい さと まもるかい 今井の郷を守る会

位置： 周南市鹿野中 対象面積： 24ha

## ◆ 地域の現状等

農家数 31戸 農業従事者 41名  
農用地 24ha 圃場整備率 90% (平成10～11年に整備)  
農業従事者平均年齢 68歳～70歳

## ◆ 活動内容等

毎年、計画に沿って農道を舗装整備  
4月に農業者で水路掃除  
自治会と合同で6月・8月・10月に  
草刈り等の共同取り組み活動  
毎月の役員定例会開催



## ◆ 効果

### 取り組み前

・草刈り等は自分の農地やその周辺を個々に行っていた。

・後継者が育たない

・空き家がある

### 取り組み後

・農地や水路、周辺部等の草刈りや清掃が一斉共同作業に移行し効率化が図られ、住民の環境意識が向上している。作業後に親睦会も行われるようになり、住民の繋がりが深まった。

・35歳の人材がUターン就農し今春、県外の女性と結婚を果たし、米作りと野菜作りに取り組む。

・地区外で生活をしている夫婦と子供3人の家族が、空き家と農地、山林を買い取り家を改修して移り住み、地域に活性化の変化が見られる。

## ◆ 将来の展望

これからも全体的には農業に従事する人の高齢化が進むことは避けられないものと推測されることから、営農組合がその受け皿となり個人で農地が守れなくなる農家が変わって、組合が管理できるようになるとよい。



# “美しい棚田と清らかな水を未来へ残そう”

しろうだに かんきょう ほぜんかい  
組織名 四郎谷環境保全会

位置： 山口県周南市四郎谷集落一円の地域

対象面積： 9.5 h a

## ◆ 地域の現状等

本地域は昇仙峰の山裾に広がる扇状地で前には瀬戸内海を望み、山からの清らかな水の恵をうけ、棚田が広がる景観の素晴らしい所です。  
豊かな農地、水路等、生産資源の整った中農家、非農家を含め連携して地域の保全活動に取り組んでいます。



## ◆ 活動内容等

年度初めに農地、農道、水路、ため池の施設点検機能診断を行い、補修箇所の間年計画を立て計画に基づき構成員が一体となり共同作業を行っています。  
また、地域の花壇、遊休農地を活用して、景観に配慮した花の作付け、管理を行う中、子供会の参加を得て地域の美化活動を展開しています。

## ◆ 効果

取り組み前は、自治会が中心になって農道、水路の草刈り等を行って来ました。お陰で取り組み後もスムーズに活動が出来自治会役員、保全会役員が連携し計画に基づき共同作業を通して円滑に活動をしています。



## ◆ 将来の展望

今後益々、高齢化が進む中、保全活動を継続しながら、活動を通じて若手の育成を行い、活動の核となる人材の確保は必要不可欠です。  
その為にも地域活動（共同作業、地区運動会、盆踊り）に気軽に参加出来る雰囲気作りと参加への呼びかけを続けて行きたいと思ひます。

